

兵庫県には活断層が数多く存在しているほか、南海トラフ地震が今後30年以内に70%から80%の確率で発生すると言われていているなど、県内で著しい地震災害が起きるおそれがあるとされています。

地震はいつ、どこで発生するか分からないため、日頃から「命を守る」行動をシミュレーションし、地震に備えましょう。

日頃からの備え

いざというときに備え、気象情報や避難に関する情報をどのように入手するのか、避難場所はどこで、どこを通過して避難するのか、家族との連絡方法はどのようにするのかなど、自宅や職場を中心に考え、家族で話し合うことが大切です。

地域ごとのハザードマップの確認や、家具の転倒防止措置、非常用持ち出し袋の用意などの備えをしておきましょう。

また、避難所における新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクや消毒液、体温計などの衛生用品も準備しておきましょう。



★ 普段から災害へ備えましょう

ハザードマップの確認



ローリングストック



連絡手段の確認



マイ避難カードの作成



非常持出袋の準備



防災訓練参加



【参考】

兵庫県や市町では、携帯電話のメール機能等を利用して緊急情報（地震情報・津波情報・気象情報・土砂災害警戒情報）等を発信しています。

- ひょうご防災ネット（スマートフォン用アプリもあります）
URL <http://bosai.net/>
- 兵庫県CGハザードマップ
URL <http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/>